

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム たんより

作成日: 令和元年 8月 5日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	新入職員に対するマニュアルが完成されておらず、また研修等も徹底されていない。	新入職員教育マニュアルを完成させ、研修も確実にこなっていく。	再度業務を改めて見直すとともに、誰が見てもわかりやすいものを作成する。また、身体拘束についても取り入れ、研修を行う。	1ヶ月
2	6	拘束廃止委員会の開催内容に、まだ不備がある。	開催内容の議事録や勉強会、研修の内容について整備する。	過去の書類を整備する。また今後の拘束廃止委員会の開催内容を事例検討と、し具体的な学びの場とする。	1ヶ月
3	40	現在提供している食事について、検食簿は記載しているものの、業者へ伝わっていない。	業者との栄養会議を定期的に行う。	業者に協力を依頼し、会議にて現場の状況を伝え、食事・栄養面の改善につなげる。	6ヶ月
4	49	バス旅行等、外出の機会を企画はしているが、開催に至らない現状がある。	ホーム全体やユニット毎の外出にこだわらず、外出の機会を持つようにする。	担当職員と入居者の個別外出を行う。可能であればバス旅行も開催する。	6ヶ月
5	2	地域の中学や高校性との交流はあるが、幼稚園や保育園等との交流ができていない。	異世代交流として、幼稚園や保育園との交流を図る。	地域の幼稚園・保育園を訪問し、入居者と園児との交流の場が持てる。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。